



有料老人ホーム共生の里

敬老の日。食事はおつくりの盛り合わせ、紅白まんじゅうなど、スタッフはお品書きと箸袋を作成、紅白まんじゅうに合わせて、赤と白の扇の箸袋です。順々に座って行かれた利用者が、テーブルにおいてあるお品書きを見て喜ばれ、食事が出てくるまで心待ちにされ、皆との話もはずんでいました。食事を提供すると「まあ、なんて豪華な！」と喜ばれる姿があり、嬉しい気持ちになりました。



共生の里訪問看護ステーション

サービス提供後、利用者と思い出話になることがあります。先日は、旅行で訪れた高知のかずら橋や、ご主人と出会われた国鉄本社の話が出ました。iPadで当時の写真や現在の風景と一緒に眺めると「懐かしいね」と笑顔が広がります。今度カラオケ発表会があるという利用者は、本番で歌われる予定の美空ひばりの「車屋さん」をYouTubeで聴くと見事な歌声で披露してくれました。画像や音楽を通して思い出を共有する時間は、利用者にとって喜びの時間であると同時に、私自身にも新しい発見を与えてくれる、大切な時間です。

鶴橋からの通信

新聞に近鉄が上本町の再開発に乗り出すとの記事が出ていました。1300億円を投じて百貨店の建て替えなどを進めるそうで、あべのハルカスに続く大型プロジェクトです。それにしてもわが鶴橋はどうか？ 駅の乗降客数は上本町の倍なのに。調べてみると、半世紀以上も前に大阪市が鶴橋の再開発構想を発表していました。25階の駅前ビルを中心に副都心をめざすと大風呂敷を広げましたが、地権者の合意が得られず断念。でも、おかげであの独特の雰囲気が残っているのだとすると、再開発なんてしないほうが良いのかも。